

M3062PT2-EPB 補足資料

ご使用前に必ずお読みください

株式会社ルネサス ソリューションズ
ツール開発第二部

この度は、ルネサス エレクトロニクス株式会社製 M16C/62P グループ用エミュレーションプローブ M3062PT2-EPB をご購入いただき、誠にありがとうございます。本資料には本製品をご使用になる前に必要な情報が記載されております。製品ご使用の前に必ずお読みください。

1. M3T-PD30F をご使用になる場合について

本製品を M3T-PD30F でご使用いただくにあたり、必要となるファームウェアファイルならびに MCU ファイルの設定について記載しています。

本製品をご使用いただくにあたり、以下のファイルが必要です。

- ・ファームウェアファイル： M30620F.S (V1.06.00 以降)
- ・MCU ファイル： M16C62P_512.mcu

上記ファームウェアファイルと MCU ファイルは、M3T-PD30F V.2.20 Release 1 に添付されておられません(最新の M16C R8C PC7501 エミュレータデバッグには添付されていますので、この作業は不要です)。

本資料では、M3T-PD30F をご使用になるユーザの皆様へファームウェアファイルと MCU ファイルの格納方法について記載いたします。これらのファイルを格納した後に、M3062PT2-EPB をご使用いただきますよう、お願いいたします。

(1)ファームウェアファイルおよび MCU ファイルの格納

ファイルの格納を始める前準備として、エミュレータデバッグ M3T-PD30F のインストールを実施してください。M3T-PD30F のインストール後、ファームウェアファイルと MCU ファイルを各々格納していただきます。

- ①最新のファームウェアファイル“M30620F.S”および MCU ファイル“M16C62P_512.MCU”を、弊社ホームページの以下の URL からダウンロードしてください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/download/m16c62p.htm>

- ②ダウンロードしたファームウェアファイル“M30620F.S”をエミュレータデバッグ実行ファイル(pd30f.exe)が存在するディレクトリに格納してください。(M3T-PD30F をデフォルトでインストールした場合は c:\¥mtool¥pd30f フォルダに格納してください)。
- ③ダウンロードした MCU ファイル“M16C62P_512.mcu”を MCU ファイルが格納されている mcufiles フォルダへ格納してください (M3T-PD30F をデフォルトでインストールした場合は c:\¥mtool¥pd30f¥mcufiles フォルダに格納してください)。

(2)ファームウェアのダウンロード

ファームウェアは以下の場合にダウンロードが必要です。通常、M3T-PD30F が起動時に下記事象を自動的に検出してファームウェアのダウンロードを実行します。

- ・本製品を初めてご使用になられる場合
- ・ファームウェアがバージョンアップされたとき
- ・他のエミュレーションプローブと組み合わせて使用していたPC7501を本製品と組み合わせてご使用になられる場合

M3T-PD30F からのダウンロード中に「エミュレータシステムの電源が切れた」、「通信インタフェースケーブルが抜けた」などにより、ファームウェアのダウンロードが失敗した場合は、以下に示す手順でエミュレータをメンテナンスモードで起動してからファームウェアをダウンロードしてください。またファームウェアのダウンロードは必ずユーザシステムを接続しないで実施ください。

- ①PC7501 後面パネルのインタフェース選択スイッチを LPT 側に切り換え、LPT パラレルインタフェースケーブルを PC7501 とホストマシンに接続します。
- ②エミュレータの電源投入後、2 秒以内に PC7501 前面パネルのシステムリセットを押し、メンテナンスモードに切り替えます。
- ③メンテナンスモードへ切り替わると、SYSTEM STATUS LED の SAFE が点滅します。
- ④M3T-PD30F を起動させます。Init ダイアログ設定終了後、ファームウェアのダウンロードを促すダイアログが表示されますのでメッセージに従ってダウンロードしてください。ダウンロードの所要時間は約 60 秒です。

詳細は、M3062PT2-EPB ユーザーズマニュアル 29 ページ「2.7 ファームウェアのダウンロード」を参照願います。

(3)セルフチェック

ご購入いただいたエミュレーションプローブが正常に動作することを確認いただくため、ファームウェアをダウンロードした後、セルフチェックを実施してください。セルフチェックは、以下に示す手順で実行ください。

- ①ユーザシステムが接続されている場合は、ユーザシステムを外してください。
- ②電源投入後、2 秒以内に PC7501 前面パネルのシステムリセットスイッチを押し、メンテナンス用の特殊モードに切り替えます。
- ③“SAFE”の LED が点滅開始するのを確認後、もう一度システムリセットスイッチを押ししてください。
- ④セルフチェックを開始します。約 30 秒で正常終了表示されればセルフチェック終了です。

詳細は、M3062PT2-EPB ユーザーズマニュアル 30 ページ「2.8 セルフチェック」を参照願います。

2. KI0#～KI3#入力に関して

実 MCU では KI0#～KI3#は CMOS シュミット入力ですが、本製品はポートエミュレーション用 FPGA を使用した TTL 入力です。そのため入力信号の変化が遅い場合、TTL レベルのスレッショルド付近(2.0V～0.8V 間)で不正な割り込みが発生する場合があります。

3. ALE 出力に関して

ユーザプログラム実行中にMCU内部RAM領域、内部ROM領域、およびSFR領域をアクセスする場合、実際のMCUではALEは“L”固定の出力となりますが、本製品ではALEが出力されます。

4. 製品のお問い合わせ

エミュレーションプローブ M3062PT2-EPB のハードウェアおよびエミュレータデバッグの技術的な内容に関するお問い合わせは、以下 URL の「日本国内お問合せ／技術関連」から願います。

[日本国内お問合せ／技術関連] http://japan.renesas.com/tech_inquiry

以上